



## 平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 ラオックス株式会社  
コード番号 8202 URL <http://www.laox.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 羅 怡文

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 矢野 輝治

TEL 03-6852-8881

四半期報告書提出予定日 平成27年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	18,213	93.1	1,826	—	1,786	—	1,751	—
26年12月期第1四半期	9,431	40.7	59	—	40	—	13	—

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 1,749百万円 (—%) 26年12月期第1四半期 20百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年12月期第1四半期	3.18	—	—	—
26年12月期第1四半期	0.03	—	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	48,954	—	37,565	—	—	76.7
26年12月期	18,959	—	10,279	—	—	54.2

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 37,565百万円 26年12月期 10,279百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
26年12月期	—	—	—	0.00	—	0.00
27年12月期	—	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	0.00	—	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	70,000	39.5	4,550	162.1	4,550	155.9	4,200	238.2	—	6.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年12月期1Q	648,881,033 株	26年12月期	548,881,033 株
-----------	---------------	---------	---------------

② 期末自己株式数

27年12月期1Q	4,069,616 株	26年12月期	4,069,406 株
-----------	-------------	---------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期1Q	550,367,064 株	26年12月期1Q	544,812,697 株
-----------	---------------	-----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、新興国で緩やかな減速が続くなか、中国も投資抑制方針などから成長鈍化傾向が見られました。また、わが国の経済は、円安・株高の進行、増税の影響を脱した個人消費や雇用情勢の底堅い推移などにより、景気の回復基調が続いております。

当社主要事業に係る訪日外国人観光客の動向に関しましては、春の桜シーズンに向けた政府の訪日旅行プロモーションや、東アジア・東南アジアでの査証緩和の効果、円安の継続による訪日ショッピング人気等により、訪日外国人観光客数は、1月から3月の3ヶ月で413万人（前年同期比43.7%増）、3月単月では152万人（単月で過去最高記録更新）となりました。当社主要顧客である中国人訪日客数は、個人旅行、団体旅行ともに前年を大幅に上回っており、年初より3ヶ月連続で過去最高を記録しております。

このような状況の中、当社グループはアジア全体をマーケットと捉え、高品質で信頼できる商品と世界に誇る日本のおもてなしをもって、ジャパンプレミアムの体現に力を入れております。

「国内店舗事業」においては、新たな発見や感動と出会える「日本大満足」をコンセプトに、伝統工芸品や化粧品、健康食品など、多様なニーズに対応した商品を取り揃え、国際色豊かなお客様に対し、日本が誇る「おもてなし」の心を表現した魅力的な店舗づくりを進めております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、2月に成田空港とのアクセスが非常に便利な「イオンモール成田店」を、3月には地下鉄御堂筋線地下直結によりアクセスが便利な「大丸心齋橋店」を新たに outlets し、総合免税店として日本最大級の充実した店舗ネットワーク構築を進めております。

「中国出店事業」においては、親会社の蘇寧雲商集団股份有限公司との強固な連携関係を背景に、収益構造の見直しと店舗運営の効率化に取り組んでおります。

「貿易仲介事業」においては、収益力向上にむけて日本の優れた商品を中国市場へ投入すべく中国の子会社と連携し、ベビー用品などを中心に輸出事業に積極的に取り組んでおります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高182億13百万円（前年同期は94億31百万円、93.1%増）、営業利益18億26百万円（前年同期は59百万円）、経常利益17億86百万円（前年同期は40百万円）、四半期純利益17億51百万円（前年同期は13百万円）となり、大幅な増収増益となりました。引き続き中国・アジアを始めとした世界のマーケットに対してジャパンプレミアムを体現していくラオックスのビジネスモデルをより成長させ、時代をリードできるグローバル企業となることに取り組んでまいります。

事業の種類別セグメントの業績は、次の通りです。

#### ① 国内店舗事業

当事業部門におきましては、主要顧客である中国人観光客が大幅に増加するとともに、春節にあわせた積極的な来店誘致施策の実施により、当第1四半期連結累計期間の売上高は159億30百万円（前年同期は57億74百万円、175.9%増）、営業利益は24億13百万円（前年同期は5億95百万円、305.1%増）と前年同期に比べ大幅な増収増益となりました。

#### ② 中国出店事業

当事業部門におきましては、店舗数の大幅な縮小により経費削減の効果はみられたものの、中国個人消費者の購買活動の変化の影響を受け、当第1四半期連結累計期間の売上高は19億47百万円（前年同期は31億66百万円、38.5%減）、営業損失は1億76百万円（前年同期は3億5百万円の損失）となりました。

#### ③ 貿易仲介事業

当事業部門におきましては、輸出版売事業の構造改革に取り組み、戦略的販売網整備と物流体制の再構築を行っておりますが、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1億65百万円（前年同期は3億6百万円、45.9%減）営業損失は63百万円（前年同期は54百万円の損失）となりました。

#### ④ その他事業

当事業部門におきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1億79百万円（前年同期は1億98百万円、9.2%減）営業損失は0百万円（前年同期は12百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、489億54百万円（前連結会計年度末189億59百万円）となりました。

総資産の増加は、主に、現預金が266億6百万円、受取手形及び売掛金が9億17百万円、商品及び製品が12億85百万円増加したことによるものであります。

② 負債

負債合計は、113億89百万円（前連結会計年度末86億79百万円）となりました。

負債の増加は、主に、短期借入金15億円、支払手形及び買掛金が6億74百万円、未払費用が3億47百万円増加したことによるものであります。

③ 純資産

純資産合計は、375億65百万円（前連結会計年度末102億79百万円）となりました。

純資産の増加は、主に、資本金が127億68百万円、資本剰余金が97億22百万円、利益剰余金が47億97百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年2月12日の「平成26年12月期 決算短信[日本基準]（連結）」で公表致しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当社及び一部の連結子会社については当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,398,395	30,004,847
受取手形及び売掛金	2,723,043	3,640,902
商品及び製品	4,587,125	5,872,678
原材料及び貯蔵品	7,815	5,479
未収入金	1,293,293	1,816,130
前渡金	862,297	1,347,699
1年内回収予定の差入保証金	123,306	123,306
前払費用	344,969	432,088
その他	228,043	217,114
貸倒引当金	△9,220	△80,748
流動資産合計	13,559,070	43,379,499
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,119,687	1,123,372
車両運搬具(純額)	2,931	31,824
工具、器具及び備品(純額)	381,816	379,443
土地	88,647	88,647
リース資産(純額)	44,977	39,547
建設仮勘定	5,803	94,648
有形固定資産合計	1,643,862	1,757,484
無形固定資産		
ソフトウェア	23,414	21,747
リース資産	5,487	4,986
ソフトウェア仮勘定	90,607	98,407
その他	5,116	5,040
無形固定資産合計	124,625	130,182
投資その他の資産		
投資有価証券	12,263	48,569
繰延税金資産	274,975	296,143
長期貸付金	121,953	121,953
敷金及び保証金	3,257,884	3,170,800
その他	411,208	333,960
貸倒引当金	△446,637	△449,392
投資その他の資産合計	3,631,648	3,522,035
固定資産合計	5,400,135	5,409,701
繰延資産		
株式交付費	-	165,544
繰延資産合計	-	165,544
資産合計	18,959,206	48,954,746

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,184,677	5,859,375
短期借入金	-	1,500,000
未払金	1,147,235	1,170,971
未払費用	377,840	725,430
リース債務	25,562	25,917
未払法人税等	33,232	202,528
賞与引当金	93,077	29,581
役員賞与引当金	8,742	4,406
ポイント引当金	9,090	11,325
製品補償損失引当金	192,440	27,447
その他	366,188	598,007
流動負債合計	7,438,086	10,154,991
固定負債		
長期預り保証金	471,571	469,965
退職給付に係る負債	243,233	256,872
役員退職慰労引当金	10,090	13,477
リース債務	26,871	20,257
訴訟損失引当金	15,058	5,332
資産除去債務	190,729	191,523
繰延税金負債	78,656	75,071
その他	205,699	201,785
固定負債合計	1,241,910	1,234,285
負債合計	8,679,997	11,389,276
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,950,002	20,718,402
資本剰余金	7,268,961	16,991,465
利益剰余金	△4,826,127	△28,554
自己株式	△426,141	△426,198
株主資本合計	9,966,694	37,255,114
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,518	4,708
為替換算調整勘定	307,995	305,646
その他の包括利益累計額合計	312,514	310,354
少数株主持分	-	-
純資産合計	10,279,209	37,565,469
負債純資産合計	18,959,206	48,954,746



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	9,431,436	18,213,157
売上原価	6,947,819	12,275,619
売上総利益	2,483,616	5,937,538
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	39,622	24,847
販売手数料	693,477	2,352,761
運搬費	80,406	54,731
減価償却費	126,003	103,984
給料及び手当	421,077	522,995
法定福利費	71,226	81,208
賞与	9,831	36,361
賞与引当金繰入額	23,091	47,650
役員賞与引当金繰入額	-	4,406
退職給付費用	18,256	25,902
役員退職慰労引当金繰入額	-	3,387
地代家賃	591,237	476,566
賃借料	6,761	8,543
その他	342,655	367,641
販売費及び一般管理費合計	2,423,647	4,110,987
営業利益	59,968	1,826,551
営業外収益		
受取利息	2,814	2,877
仕入割引	5,529	20,584
為替差益	-	6,265
その他	3,202	5,453
営業外収益合計	11,545	35,181
営業外費用		
支払利息	2,282	1,348
売上割引	783	704
株式交付費償却	3,758	4,733
支払保証料	7,500	-
為替差損	12,218	-
貸倒引当金繰入額	-	64,635
その他	4,875	3,581
営業外費用合計	31,420	75,003
経常利益	40,094	1,786,729
特別利益		
固定資産売却益	185	-
減損損失戻入益	-	100,375
特別利益合計	185	100,375
特別損失		
減損損失	-	2,796
特別損失合計	-	2,796
税金等調整前四半期純利益	40,280	1,884,308

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
法人税、住民税及び事業税	33,361	157,029
法人税等調整額	△7,013	△24,398
法人税等合計	26,348	132,631
少数株主損益調整前四半期純利益	13,932	1,751,677
少数株主利益	-	-
四半期純利益	13,932	1,751,677

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,932	1,751,677
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△671	189
為替換算調整勘定	6,742	△2,348
その他の包括利益合計	6,071	△2,159
四半期包括利益	20,003	1,749,517
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,003	1,749,517
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年3月9日の当社取締役会に基づき、平成27年3月24日を払込期日とする公募による新株式発行(100,000,000株)を行い、資本金及び資本準備金がそれぞれ12,768,400千円増加しております。

また、平成27年3月26日開催の株主総会の決議により、資本準備金1,726,937千円、及び、その他資本剰余金1,318,958千円を利益剰余金に振替えることにより欠損填補いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金は20,718,402千円、資本剰余金は16,991,465千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内店舗 事業	中国出店 事業	貿易仲介 事業	その他 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	5,774,246	3,166,704	293,421	197,064	9,431,436	—	9,431,436
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	13,022	1,110	14,133	△14,133	—
計	5,774,246	3,166,704	306,444	198,174	9,445,569	△14,133	9,431,436
セグメント利益又は損失 (△)	595,947	△305,777	△54,174	12,559	248,555	△188,586	59,968

(注) 1 セグメント利益の調整額△188,586千円は、各報告セグメントに分配していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。  
2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内店舗 事業	中国出店 事業	貿易仲介 事業	その他 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	15,930,101	1,938,575	165,734	178,746	18,213,157	—	18,213,157
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	9,000	—	1,110	10,110	△10,110	—
計	15,930,101	1,947,575	165,734	179,856	18,223,268	△10,110	18,213,157
セグメント利益又は損失 (△)	2,413,913	△176,803	△63,318	△674	2,173,117	△346,565	1,826,551

(注) 1 セグメント利益の調整額△346,565千円は、各報告セグメントに分配していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。  
2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「中国出店事業」セグメントにおいて、2,796千円の減損損失(特別損失)を計上しております。

## (重要な後発事象)

## 1. 第三者割当による第3回新株予約権の発行

当社は、平成27年3月9日開催の当社取締役会において、第三者割当による第3回新株予約権の発行を決議し、平成27年4月3日に発行価額の総額の払込手続を完了しております。なお、概要は次の通りです。

- |                         |  |
|-------------------------|--|
| (1) 新株予約権の目的となる株式の種類及び数 | 当社普通株式 35,000,000株   |
| (2) 新株予約権の総数            | 350個   |
| (3) 当該発行による潜在株式数        | 35,000,000株  |
| (4) 発行価額(払込金額)          | 本新株予約権1個当たり 198,800円(総額 69,580,000円)   |
| (5) 資金調達額               | 10,513,258,000円(差引手取概算額)   |
|                         | 差引手取概算額は、本新株予約権の払込金額の総額に、すべての本新株予約権が当初行使価額で行使されたと仮定した場合に出資される財産の価額の合計額を合算した金額から、本新株予約権にかかる発行諸費用の概算額を差し引いた金額です。 |
| (6) 行使価額                | 301.04円  |
| (7) 行使価額の下方修正           | なし   |
| (8) 行使期間                | 平成27年4月6日～平成30年4月3日  |
| (9) 割当先                 | GRANDA MAGIC LIMITED   |
| (10) 資本組入額              |  |

本新株予約権の行使により当社普通株式を発行する場合において増加する資本金の額は、会社計算規則第17条第1項の規定に従い算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とし(計算の結果1円未満の端数を生じる場合はその端数を切り上げた額とする。)、当該資本金等増加限度額から増加する資本金の額を減じた額を増加する資本準備金の額とする。

## (11) その他

当社は、GRANDA MAGIC LIMITEDとの間で、本新株予約権買取契約及び新株予約権の行使プロセス等について取り決めたファシリティ契約を締結しております。

## (12) 資金の用途

免税ネットワークの構築に向けた新規出店及び既存店舗の改装等の設備投資資金の一部及び業務効率化を企図した基幹システムであるERPシステム開発投資の一部に充当する予定です。

## 2. 第三者割当による新株式の発行

当社は、平成27年3月9日開催の当社取締役会において、オーバーアロットメントによる売出しに関連して行う第三者割当による新株式の発行を決議し、平成27年4月22日に払込みは完了しております。なお、概要は次の通りです。

- |                      |  |
|----------------------|--|
| (1) 発行する株式の種類及び数     | 当社普通株式 15,000,000株                                     |
| (2) 払込金額             | 1株につき 255.368円   |
| (4) 増加する資本金及び資本準備金の額 | 増加する資本金の額 1,915,260,000円<br>増加する資本準備金の額 1,915,260,000円 |
| (5) 払込期日             | 平成27年4月22日   |
| (6) 割当先及び割当株式数       | SMB C日興証券株式会社 15,000,000株                              |